●町道田の浦出口線の法面修繕工事の請負契約

指名業者7社（町内業者）による指名競争入札を行い、落札業者が決定。

工事場所は、黒潮町出口地区で県道出口古津賀線と町道田の浦出口線が交差する信号機がある交差点から、四万十市竹島方面へ約400mの地点で、向かって左側の法面修繕をするもの。

○金額　7590万円
○契約先　㈱丸三建設
○工期　平成28年5月20日～平成28年11月30日

可決（全員）

Q 中島　一郎議員

法枠工不施行構造物の取壊しと法面整形のみの施行としているが、内容は。

A 金子　まちづくり課長

今回は予算の都合上、現在モルタル吹付工をしている部分の法面整形を実施する。

今回実施しない部分は、今年度、秋以降に発注して完成の予定としている。

竹島側から見た工事現場。当日は、猛暑の下、表面に貼られたモルタルをはぐ作業が（7月4日）

教育委員会委員に任命されました

黒潮町
伊田878番地2
都築　武夫

任期満了に伴う再任。
任期は、平成28年6月6日から平成32年6月5日まで

黒潮町
佐賀2417番地1
浜田　康太郎

前任者辞任に伴う任命。
任期は、平成28年5月19日から平成31年6月16日まで

「世界津波の日高校生サミット」のご紹介です！

サミットは、今年11月25日、26日の両日に、土佐西南大規模公園体育館を主会場に、高知県と高知県教育委員会、並びに黒潮町と黒潮町教育委員会の主催、外務省、文部科学省、内閣府などの後援で開催する予定で、国内外の高校生約300名とその引率者、国内外の関係者を含め、約500人規模の催しを計画しています。

日本では、和歌山県の逸話「稲むらの火」に由来して11月5日を「津波防災の日」としています。昨年12月、国連総会委員会にて、津波への国際的な意識向上を目的に日本が提唱し、世界142カ国が共同提案を行い、全会一致で同日を国連の「世界津波の日」としました。

これに端を発し、この度、「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「世界津波の日 高校生サミット」を黒潮町にて開催する運びとなりました。

このサミットは、防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必要な事前防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波の様々な悪影響を最小化できる将来の国のリーダーを育成することを目的に開催するものです。